

4. 今後の課題

短大離れが進む中、当短期大学にとっても学生募集をどのように行っていくかが重要な問題です。我が校においては、23年度より1学科(美容総合学科)3専攻(美容デザイン・総合エステティック・国際美容コミュニケーション専攻)を開設しますが、未だ世間に広くそのことが知れ亘ってはおらず、とりわけ「美容の山野」というイメージが定着していることから、英語教育を中心とした国際美容コミュニケーション専攻に対する認知度が低いところから創めなければならなかったこともあった関係で、学生募集は当初期待したほどの結果が得られておりません。このことも踏まえての学生募集活動を展開する必要があります。

また、東日本大震災が与えた影響、とりわけ留学生への精神的ショックは大きく、退学或いは一時帰国、更には入学辞退ということが起きております。留学生に対するこれまで以上の精神的な支援を続けていくことが重要になってきます。

学生支援活動に関しては、就職先の多様化を図るべく更なる環境の整備を推し進めていく必要があります。

美容専門学校においては、22年度から実施している専門課程の新カリキュラムを、より生徒の満足度を上げるためにレベルアップを図ってまいります。より目標を幅広く持てるように選択内容を増やしていく計画です。また、高等課程においては、夜間であるメリットを活かし、より現場の実践に近い形で授業を実施すべく、カリキュラムを改定する計画です。授業の実施体制は、20以上のトップサロンで活躍している現役のスタイリストを講師として迎え、ダイレクトに技術や情熱を伝えてもらえるよう計画しています。

近年生徒募集に関しては厳しさを増しており、より魅力的な学校運営が求められています。学生の満足度を上げるためには授業内容のみならず、卒業後のフォローアップが重要となってきています。現役生の就職先の拡大は言うに及ばず、卒業後も継続して連携を取っていくことが求められています。そのための組織として「キャリアセンター」を立ち上げ充実を図ってまいります。

平成15年に開校した山野医療専門学校は、平成24年には記念すべき開校10周年を迎えます。この間に、約300名の卒業生を輩出することになりますが、毎年実施される柔道整復師国家試験の合格率は全国平均を下回っているのが現実です。また、教育内容の特徴として「美容柔整」を掲げているが、その具体的教育内容が系統的に研究されておらず、カリキュラムとしても十分展開されてはいません。こうしたことから、平成23年度は「開校10周年を迎えるに当たっての学校運営、教育内容の見直しと、次の新たな10周年に向けての対策の年」と位置付け、大切な節目(準備)の年とします。具体的には(1)教職員体制の刷新・増強・充実。(2)国家試験対応体制を強化し、柔道整復教育の徹底を図る。国家試験合格率100%を目指す。(3)キャリア支援の確立と強化:就職説明会の実施、同窓会組織を活用した就職経路の確立、卒業後の技術研修会・卒業教育の実施、卒業生の独立開業支援体制の確立、インターンシップ制度を確立して、即戦力となる生徒を確実に社会に送り出す。(4)定員の確保、他学校との特別指定推薦校提携。(5)カリキュラム、時間割の見直しと改定準備。(6)授業方法の研修:FD/SD研修会を開催して、より良い授業運営方法を研究し、教育現場に反映させる。(7)楽しい学校生活づくり:学校を勉学に励む場とすると同時に、部活・課外活動・スポーツ大会・遠足・親睦会などを積極的に企画してコミュニケーションを図り、楽しい学校生活の場となるよう創意工夫する。(8)規律ある学校生活の徹底:医療人を目指すにふさわしい身なり、言動がとれるように挨拶・マナー・身だしなみ等の指導を徹底する。(9)課外授業、課外活動の充実。(10)各種資格取得のための講座開設:登録販売員、足底板取扱資格、アロマセラピスト検定、介護士検定など。(11)「美容柔整」概念の具体化:附属接骨院を美容柔整の実践の

場として位置付け、教育や研究体系の基盤を確立し、社会活動への普及を目指していく。

3月11日の東日本大震災による物理的な被害はなかったものの、日本語学校では、原発の放射能漏れ事故等による精神的なショックを受けている生徒が多数いるのが現状です。一部の学生は、退学または一時帰国しており、引き続き在学する生徒に対しての精神的なケアが必要となっています。

大震災の影響により生徒募集に大きな障害が出ており、生徒本人やその家族から入学辞退や保留の申し出が相当数でています。長期的には元の水準に戻ることが予想されますが、海外での過熱した報道により、日本に対して誤った認識を持つ者が多く、その認識を是正する努力が必要である。

引き続き、大学進学者へのサポートも充実させる必要があり、また、近年増加している大学院への進学者に対するサポートも同様に検討する必要があります。